

ホテル名	知床第一ホテル							
ホテル概要	地域	北海道	業態	温泉ホテル	客室数	216 室	参加形態	WS参加施設
	所在地	北海道斜里郡斜里町ウトロ香川 306 番地			URL	http://shiretoko-1.com/		

テーマ	温泉大浴場の維持清掃作業の改善
カテゴリ	作業改善、標準化・マニュアル化・マネジメントの徹底
部門	施設

改善の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・当社はミャンマーから輸入した柔翡翠（ナンヒスイ）を大浴場の湯船や床、壁に敷いている。 ・柔翡翠の原石を切断したもので、利用客の皮脂やシャンプーの流し残りなどで滑りやすいという問題点がある。 ・加えて、温泉のスケールが浴槽の縁に固着しやすい。 ・ゆえに、大浴場の清掃に大きな労力を費やしている。
改善の内容	<p>(改善前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滑り防止のために、毎日 2 回の清掃を行ってきた。 10 時～14 時の本清掃 (4 時間)、19 時半～20 時半の中間清掃 (1 時間)、計 5 時間 いずれも 2 名で実施。 ・スケール除去剤は酸性につき柔翡翠を劣化させるので、利用してきていない。 ・スケールを除去するために、年 2 回、ペビーサンダーによる除去作業を行ってきた (一回当たり 2 日間 × 6 × 8 時間)。 <p>(改善後)</p> <p>以下の改善策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散水設備を導入し、毎日の清掃作業を短縮しても滑らないようにした。 ・散水設備稼働にあたっては、タイマーを使って動かす時間を短く抑え、水道利用量を抑えるようにした。 ・温泉の源泉槽に分解剤を直接導入し、スケールの付着を減らすようにした。 ・実験の結果、1 日 9 時間散水すれば滑り止めの効果を得ることを確認出来た。また、9 時間の散水で日々の清掃を 1 日 2 回から 1 回に削減出来ることがわかり、昼間の本清掃だけにして、夜の間清掃を中止した。昼の本清掃も時間短縮が可能となった。 ・スケールについては、分解剤投入により浴槽への付着の減少を確認出来た。この状況であれば年 2 回の除去作業を年 1 回に軽減出来ると思われる。
改善のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃作業は短縮出来たが、一方で散水による水道代が発生している。目下のところ 1 日 9 時間の散水で毎日 60 トンの水道を使っている。今後は散水量をさらに研究して水道利用量の削減を図りたい。
改善の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大浴場清掃時間の短縮 1 日当り 5 時間の清掃作業を 3 時間に短縮した。 改善前 ; 1 日 2 × 5 時間 = 10 時間 × 365 日 = 年間 3,650 時間 改善後 ; 1 日 2 × 3 時間 = 6 時間 × 365 日 = 年間 2,190 時間 ∴ 改善時間 = 2,190 時間 - 3,650 時間 = 年間 ▲1,460 時間 ・スケール除去作業の短縮 年間 2 回行ってきた除去作業を年間 1 回に減らすことが出来る。 改善前 ; 1 回当り 2 日間 × 6 × 8 時間 = 96 時間 × 2 回 = 192 時間 改善後 ; 1 回当り 2 日間 × 6 × 8 時間 = 96 時間 × 1 回 = 96 時間 ∴ 改善効果 = 96 時間 - 192 時間 = 年間 ▲96 時間 ・改善時間合計 = ▲1,460 時間 + ▲96 時間 = 年間 ▲1,556 時間